

近美コレクション

Museum Collection

2020 年 11 月 21 日[土] — 2021 年 2 月 14 日[日]

北海道立近代美術館 展示室 A

日本の美

会期中、浮世絵の総入れ替えを2回、 日本画の一部の展示替えを1回行います。	浮世絵	前期 11/21(土)～12/20(日)	中期 12/22(火)～1/17(日)	後期 1/19(火)～2/14(日)
	日本画	前期 11/21(土)～1/11(月)		後期 1/13(水)～2/14(日)

* 浮世絵は、前期展示作品のみ掲載しています。中後期とも、異なる作品を展示します。

「日本の美」とはなにか、それはこの国に暮らす人々の歴史や生活、感性に根ざし、実に幅広い観点からとらえられるものでしょう。美術においても、日本独自の文化と多様に結びつき、多くの作品が生み出されてきました。

本展では、日本の伝統的な主題や技法を用い、その特徴をとらえやすい作品を、当館のコレクションのうち浮世絵、近現代の日本画、ガラスの各ジャンルから選んで展覧します。各作品のさまざまな表現にふれながら、そこに「日本の美」を見出していただければ幸いです。

浮世美人華麗競一粋でお洒落で艶やかで

プロローグ 浮世絵版画超入門

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	エミール・オルリック	日本の画家、彫師、摺師	1902(明治 35) (1901 年 木版原画をもとに再版)	リトグラフ・紙
2	河鍋 暁斎 (参考資料)	壁に耳あり(『狂斎百図』より・復刻)	原本刊行:1863-66 復刻:2010 年代(摺師:三田村努)	木版・紙

美人雪月花一映えます！魅せます！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
雪				
3	歌川 国貞	(雪月花) 雪		木版・紙
4	歌川 国貞	江戸八景 木母寺暮雪		木版・紙
5	歌川 国貞	江戸名所百人美女 木母寺	1857(安政 4)	木版・紙
6	溪斎 英泉	吉原要事廊の四季志 十一月 仲の町雪見 玉屋内白玉		木版・紙
月				
7	溪斎 英泉	(月を眺める娘)		木版・紙
8	歌川 国貞	(深川新地 月下の三美人)		木版・紙
9	歌川 国貞	江戸名所百人美女 品川歩行新宿	1857(安政 4)	木版・紙

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
10	歌川 国貞	江戸名所百人美女 浅草田町	1858(安政 5)	木版・紙
11	歌川 広重	雪月花の内 月の夕部		木版・紙
12	歌川 国芳	季寄時計年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ		木版・紙
13	歌川 国貞	雪月花のうち		木版・紙
花				
14	歌川 国貞	青楼美人 雪月花 花	1809(文化 6)	木版・紙
15	歌川 国貞	すみだ川花の景		木版・紙
16	歌川 国貞	春宵一刻千金ノ界		
17	歌川 国貞	御好芸者五行の内 木 仲の町桜		木版・紙

美人そうそう ― 盛ります！キメます！よそおいますます！

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
装 さても遊郭、艶麗の華				
18	歌川 国貞	北国五色墨（花魁）		木版・紙
19	歌川 国貞	江戸新吉原八朔白無垢の図		木版・紙
20	溪斎 英泉	吉原要事廓の四季志 正月 大こくまい 玉屋内濃紫		木版・紙
21	溪斎 英泉	よしはらようじ廓四季志 七月 とうろうほし祭 尾張屋内嘉保留		木版・紙
22	歌川 国貞	新板錦絵 当世美人合 秀佳きどり		木版・紙
23	歌川 国貞	（奉納手拭見立）岡本屋内しけり枝		木版・紙
24	歌川 国貞	（奉納手拭見立）玉や内しら玉		木版・紙
25	溪斎 英泉	姿海老屋内七人		木版・紙
26	溪斎 英泉	傾城道中双嫁 見立よしはら五十三対 戸塚 まつはや増山		木版・紙
27	溪斎 英泉	当世廓風俗 海老屋内大井		木版・紙
28	溪斎 英泉	当世廓風俗 岡本屋内豊岡		木版・紙
29	溪斎 英泉	吉原八景 瀬田之夕照 丸海老屋内江川		木版・紙
30	溪斎 英泉	時世粧（煙管を持つ花魁）		木版・紙
粧 鏡見つめて艶姿				
31	歌川 国貞	今風化粧鏡（合せ鏡）	1823(文政 6)頃	木版・紙
32	歌川 国貞	今風化粧鏡（口紅をさす女）	1823(文政 6)頃	木版・紙

生活に寄り添う

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
10	淡島雅吉	しづくガラス タンブラー	1950(昭和 25)頃	ガラス・型吹き
11	淡島雅吉	しづくガラス シャンペン・グラス	1950(昭和 25)頃	ガラス・型吹き
12	淡島雅吉	しづくガラス 花器	1952(昭和 27)	ガラス・宙吹き、カット
13	淡島雅吉	しづくガラス 鉢		ガラス・型吹き
14	小柴外一	梅 深皿 大	デザイン:昭和初期 制作:1960 年代	ガラス・型押し
15	小柴外一	こい 大皿	デザイン:昭和初期 制作:1950 年代	ガラス・型押し
16	小柴外一	青海波 花瓶	デザイン:昭和初期 制作:1950 年代	ガラス・型押し、研磨
17	小柴外一	きりのは 大鉢	デザイン:昭和初期 制作:1950 年代	ガラス・型押し、研磨
18	佐藤潤四郎	水指	1986(昭和 61)	ガラス、木・カット
19	岩田藤七	茶碗・銀河		ガラス・宙吹き
20	岩田藤七	茶入・朧		ガラス・宙吹き
21	岩田藤七	蓋置		ガラス
22	岩田藤七	水指	1975(昭和 50)	ガラス・宙吹き
23	小柴外一	亀甲おもだか文茶碗	1966(昭和 41)頃	ガラス・パート・ド・ヴェール
24	小柴外一	ぼけ文茶碗	1960 年代後期	ガラス・パート・ド・ヴェール

飾りのガラス

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
25	藤田喬平	飾筥・竹取物語	1992(平成 4)	ガラス・銀・被せガラス・色ガラス粒・金箔・プラチナ箔による装飾、型吹き
26	藤田喬平	飾筥・紅白梅	2002(平成 14)	ガラス・銀・被せガラス・色ガラス粒・金箔・プラチナ箔による装飾、型吹き
27	藤田喬平	飾筥・弥生	1982(昭和 57)	ガラス・色ガラス粒と金箔・プラチナ箔による装飾、型吹き
28	藤田喬平	飾筥・源氏物語	1983(昭和 58)	ガラス・金属・色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き
29	藤田喬平	飾筥・海の彩	1980(昭和 55)	ガラス・色ガラス粒と金属箔による装飾、型吹き

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
30	小林英夫	被硝子角溝切子皿	1981(昭和 56)	ガラス・被せガラス、カット
31	小林英夫	角出台付花瓶	1982(昭和 57)	ガラス・宙吹き、カット
32	岩田藤七	花器・荷葉		ガラス・宙吹き、金粉溶着
33	岩田藤七	花器・紅葉		ガラス・宙吹き、斑紋装飾
34	岩田久利	水指・道成寺	1982(昭和 57)	ガラス・色ガラス粉と金箔による装飾、宙吹き
35	岩田久利	花器	1992(平成4)	ガラス・宙吹き

日本の現代ガラス

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
36	家住利男	P. 040901	2001(平成 13)	板ガラス・接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨
37	家住利男	V. 010702	2002(平成 14)	板ガラス・接着、ハンド・グラインダーによる彫刻、研磨
38	伊藤孚	円筒	2002(平成 14)	板ガラス、鉄板・サンドブラスト
39	塩谷直美	月の空	2001(平成 13)	ガラス・キャスト、サンドブラスト、研磨、着色
40	米原眞司	ライン・ドローイング	1994(平成6)	ガラス・被せガラス、宙吹き、ガラス繊維溶着
41	西悦子	レースのボウル	1994(平成6)	ガラス・パート・ド・ヴェール
42	扇田克也	ワタシノアヲゾラ	1991(平成3)	ガラス、銀箔・キャスト、サンドブラスト
43	扇田克也	アメノヒモアル	1991(平成3)	ガラス、銀箔・キャスト、サンドブラスト

この 1 点を見てほしい。

美術館の様々な活動の基礎となるのは、美術や美術館に関する調査・研究です。とりわけコレクションを対象とした調査や研究活動は、美術館の最も重要な役割のひとつであり、また、実物を所蔵しているからこそ可能となる活用の領域でもあると言えるでしょう。

「この 1 点を見てほしい。」は、当館コレクションから学芸員が 1 点を選び、多角的な研究を通して作品の奥深い魅力を紹介するコーナーです。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	マルク・シャガール	パリの空に花	1967 年	油彩・キャンヴァス

* 全て当館蔵